

編 集 後 記

山形大学紀要（医学）第 25 巻 2 号（平成 19 年 8 月）をお届け致します。本号は、特別寄稿 1 編と原著論文 3 編、学会抄録 2 編よりなります。そのうち 2 編は英文論文です。

今回も、望月政司名誉教授には血清の pH と Pco₂ に関する英文論文を投稿して戴きました。遙か昔に退官された望月先生が今でも activity を持っておられるのには、いつも頭が下がる思いが致しております。望月先生にはいつまでもご健勝にてご研究をお続け戴きますようお願い申し上げます。

北目文郎先生の MRSA に関する記事は、最終講義の内容をおまとめ戴いたものですが、示唆に富む内容であり、興味深く拝読致しました。根本建二教授の Kasabach-Merritt 症候群に関する論文も、蔡少玲先生の言語学に関する論文も、いずれも質の高いものであると存じます。ご投稿戴きました諸先生方には厚く御礼申し上げます。

前号の編集後記にも書きましたが、本誌は慢性的な投稿不足に悩んでおります。この現象の理由は様々であるとは存じますが、本学職員の皆様には是非多くの論文をご投稿戴きますようお願い致します。

編集委員長 青 柳 優（2007 年 7 月）